



小中学校入学式

4月5日に市内の小学校11校、中学校4校で入学式が行われ、小学生371人、中学生408人が入学しました。真新しいランドセルを背負った新小学1年生は、これからの学校生活への期待で目を輝せ、また大きめの制服に身を包んだ新中学1年生は、新しい学び舎の中で、やや緊張した面持ちを見せていました。

式では、在校生や保護者に見守られる中、新1年生が堂々と入場し、来賓や校長先生などからお祝いの言葉が贈られました。【写真：延徳小学校（左、右下）、豊田中学校（右上）】



新規就職者激励大会

4月7日、中野地域職業訓練センターにおいて、4月から新たに市内の事業所に就職された約100人を対象に、市と商工会議所共催による新規就職者激励大会を開催しました。講演会では、「ビジネスでの新聞活用」を演題に信濃毎日新聞社読者センター長の畑光一さんが積極的な情報収集について語りました。続く式典では、池田市長のほか来賓の皆さんから激励の言葉や社会人の先輩としてのアドバイスが贈られました。



「故郷」のふるさと音楽会

4月23日、高野辰之記念館において、高野辰之生誕140周年を記念し、「『故郷』のふるさと音楽会」を開催しました。当日は、チェリストの小島遼子さんと、ピアニストの西村夏葵さんによるコンサートが行われ、「春が来た」などの日本の名曲のほか、NHK連続テレビ小説「おひさま」のメインテーマ曲などがチェロとピアノのアンサンブルで演奏され、春の暖かな日差しが差し込む会場内に美しいハーモニーが響き渡りました。



御柱祭

3月下旬から5月上旬にかけて、数えて7年に一度の御柱祭が市内各地で行われました。

氏子たちによる里曳きは、御柱を先頭に華やかな山車や神楽が続き、山車からは観客へ向けて、お菓子などの護符がまかれ、里曳きの行列によりにぎわいが増しました。

また、御柱を各神社の境内に建てる「建御柱」は、大勢の観客が見守る中で行われ、無事に建立が成功すると、大きな歓声が湧きました。

【写真:赤岩区(右)、上今井区(左上)、岩船区(左下)】



中山晋平生誕 129 年祭

4月22日、中山晋平記念館において、中山晋平生誕129年祭が開催されました。当日は、中山晋平生誕地記念碑保存会の皆さんや、日野小学校5年生、みなみ保育園の園児の皆さんたちが記念碑に拝礼した後、晋平が作曲した「證城寺の狸囃子」を全員で歌いました。最後に、みなみ保育園の園児の皆さんが記念館前に一列に並んで、シャボン玉を一斉に空高く吹き上げると、会場はうれしそうな笑顔でいっぱいになりました。



景観ウォーキング

4月17日、中野市景観・美化推進協議会が主催する「景観ウォーキング2016」が行われ、約30人の参加者が松尾芭蕉の句碑が残された桜の名所である東山公園内の如法寺のほか、常楽寺や南照寺などを巡りました。

参加者の皆さんは、清泉女学院大学客員教授の玉城司たまきつかささんに句碑の解説を受け、春を迎えた市街地や名所を散策し、自然と歴史文化の見事な調和を感じながら景観を楽しみました。